

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	① 環境共生型観光の推進	
			施策の小項目名	—	
主な取組	やんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業			実施計画記載頁	185
対応する 主な課題	②沖縄の貴重な自然環境と観光振興を持続的に両立させるには、実態調査等に基づいた沖縄独自の環境負荷低減の地域における取組が必要不可欠である。また、観光利用による観光資源の劣化が見られる地域においては、市町村や地域が主体となって行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりの強化が課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
世界自然遺産候補地である国頭村、大宜味村及び東村のやんばる地域において、観光による「森林の利活用」と「自然環境の保全」の両立により、持続可能な地域振興を図るため、3村で一体となったツーリズム推進体制の構築を行う。						
実施主体		県				
担当部課【連絡先】		農林水産部森林管理課 【098-866-2295】				
		全体構想の策定				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	やんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	17,857	15,374	19,710	—		○H29年度: 委託業務により、検討委員会を開催し、全体構想(案)を基に、やんばる森林ツーリズム推進全体構想を策定した。 ○H30年度: —
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
		—	—	—	—	—	—		○H29年度: — ○H30年度: —

様式1(主な取組)

活動指標名	全体構想の策定				H29年度			H29年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	素案策定	案策定	策定済	—	100.0%	19,710	順調	平成28年度に引き続き、委託業務による多様な関係者からなる検討委員会の開催により、推進体制構築の礎となるやんばる森林ツーリズム推進全体構想を策定した。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果
	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			委託業務を発注し、平成28年度に引き続き、地域のツーリズム事業者、林業関係団体及び関係行政機関からなる検討委員会の開催により、やんばる森林ツーリズム推進全体構想を策定できたことから、進捗状況は順調と判断する。 また、併せて全体構想を運用するための組織となる協議会が平成30年度当初に設立されることにより、ツーリズムの推進体制の基盤が構築される。
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①地域内外に広く事業の内容を周知し、理解を得るために各種プロモーションを実施する。						①外部のツーリズム事業者や旅行者向けの新たな制度の説明会を開催した他、広く地域内外に取組内容を周知するために、パンフレットの作成やwebの設立など各種プロモーション業務を実施した。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・全体構想には、利用ルールやガイド制度等が含まれており、その運用は地域の行政や事業者等が自主的・主体的に取り組む必要があり、その体制の構築が求められる。

○外部環境の変化

・世界自然遺産登録に向けて、諮問機関であるIUCNが評価した結果、勧告事項として観光地域における適切な観光管理メカニズム等による訪問者管理計画の実施を追求することとの記載があるなど、本取組は世界自然遺産登録にあたり切に求められている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・世界自然遺産登録にあたり、IUCNの勧告事項にあったとおり、策定された全体構想に基づいた適切な制度の運用が求められており、県としても世界自然遺産を推進する立場として、森林ツーリズムの推進に向けた地域主体の取組に対して引き続き支援する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・事業スキームを補助に替え、地域が主体となって取り組むガイド講習会の開催、モニタリングの実施及び普及プロモーション活動等、全体構想で定めた制度等の適切な運用に向けた各種支援を実施する。